

2026年3月期

決算概要 単体

2026年5月12日

 筑波銀行
Tsukuba Bank

東証プライム:8338

決算サマリー	2
損益の状況	3
コア業務純益の推移	4
貸出金の状況	5
預金・預り資産の状況	6
有価証券の状況	7
不良債権の状況	8
与信関係費用の状況	9
経費・コアOHRの状況	10
自己資本比率・ROEの状況	11
業績予想	12

*銀行単体の数値をもとに作成しています。

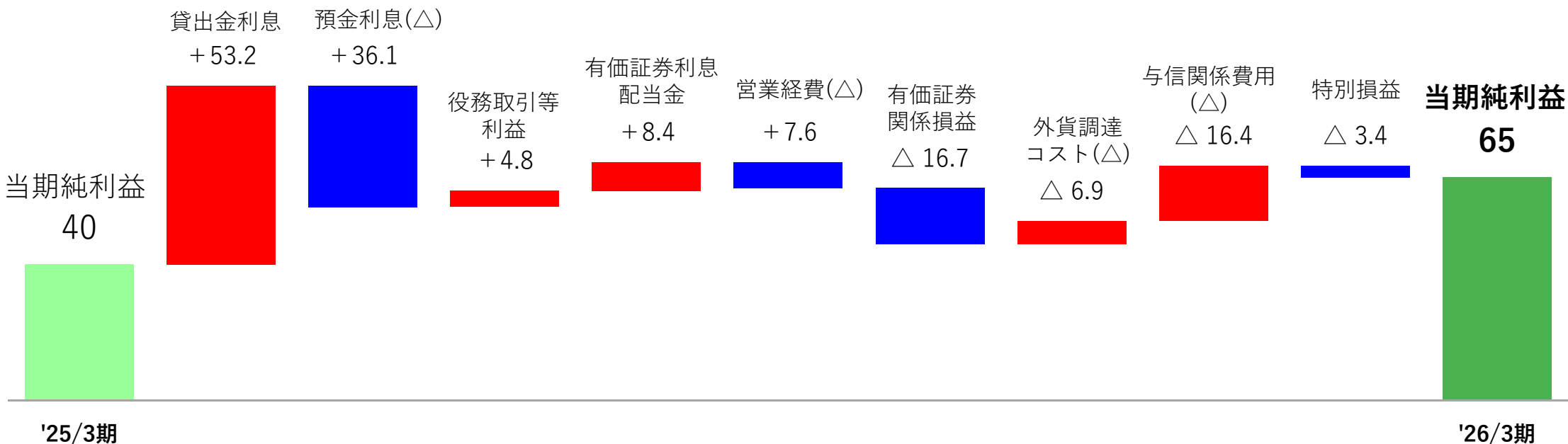
	2026年3月期	前期比	増減率	通期業績予想* に対する達成率
経常収益	500億円	+ 91億円	22.2%	—
経常利益	73億円	+ 29億円	66.6%	124.3%
当期純利益	65億円	+ 25億円	62.4%	129.2%

* 2025年11月7日公表

当期純利益の増減要因

(億円)

■ 増益要因 ■ 減益要因



損益の状況 単体

(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前期比	増減率
業務粗利益	28,074	27,840	△ 233	△ 0.8%
(除く国債等債券損益)	30,154	33,806	+ 3,652	
資金利益	26,403	28,896	+ 2,493	
うち貸出金利息	23,200	28,520	+ 5,320	
うち有価証券利息配当金	4,255	5,099	+ 844	
うち預け金利息	752	885	+ 132	
うち預金利息(△)	1,472	5,090	+ 3,617	
役務取引等利益	4,092	4,579	+ 486	
その他業務利益	△ 2,421	△ 5,634	△ 3,213	
うち国債等債券損益	△ 2,079	△ 5,965	△ 3,886	
経費(除く臨時処理分)(△)	23,204	23,827	+ 622	
実質業務純益	4,869	4,013	△ 856	
コア業務純益	6,949	9,979	+ 3,029	43.6%
(除く投資信託解約損益)	6,705	9,751	+ 3,045	
一般貸倒引当金繰入額(△)①	△ 1,914	△ 751	+ 1,162	
業務純益	6,783	4,765	△ 2,018	
臨時損益	△ 2,379	2,577	+ 4,956	
うち株式等関係損益	1,142	3,355	+ 2,212	
うち不良債権処理額(△)②	4,539	1,735	△ 2,803	
経常利益	4,402	7,338	+ 2,935	66.6%
特別損益	△ 98	△ 446	△ 347	
税引前当期純利益	4,304	6,891	+ 2,587	
法人税等合計(△)	246	300	+ 53	
当期純利益	4,057	6,591	+ 2,533	62.4%
与信関係費用 ①+②	2,625	984	△ 1,641	

決算のポイント

業務粗利益 278億円 (前期比 △ 2億円)
コア業務純益 99億円 (前期比 + 30億円)

- ・ 資金利益の増加
 - ✓ 貸出金利回りの上昇や残高増加により貸出金利息が増加
 - ✓ 国内債券を中心に有価証券利回りが上昇したことにより有価証券利息配当金が増加
 - ✓ 預金金利の引上げに伴い預金利息は増加
- ・ 役務取引等利益の増加
- ・ その他業務利益の減少
 - ✓ 国内債券のロスカット実施に伴い国債等債券売却損が増加

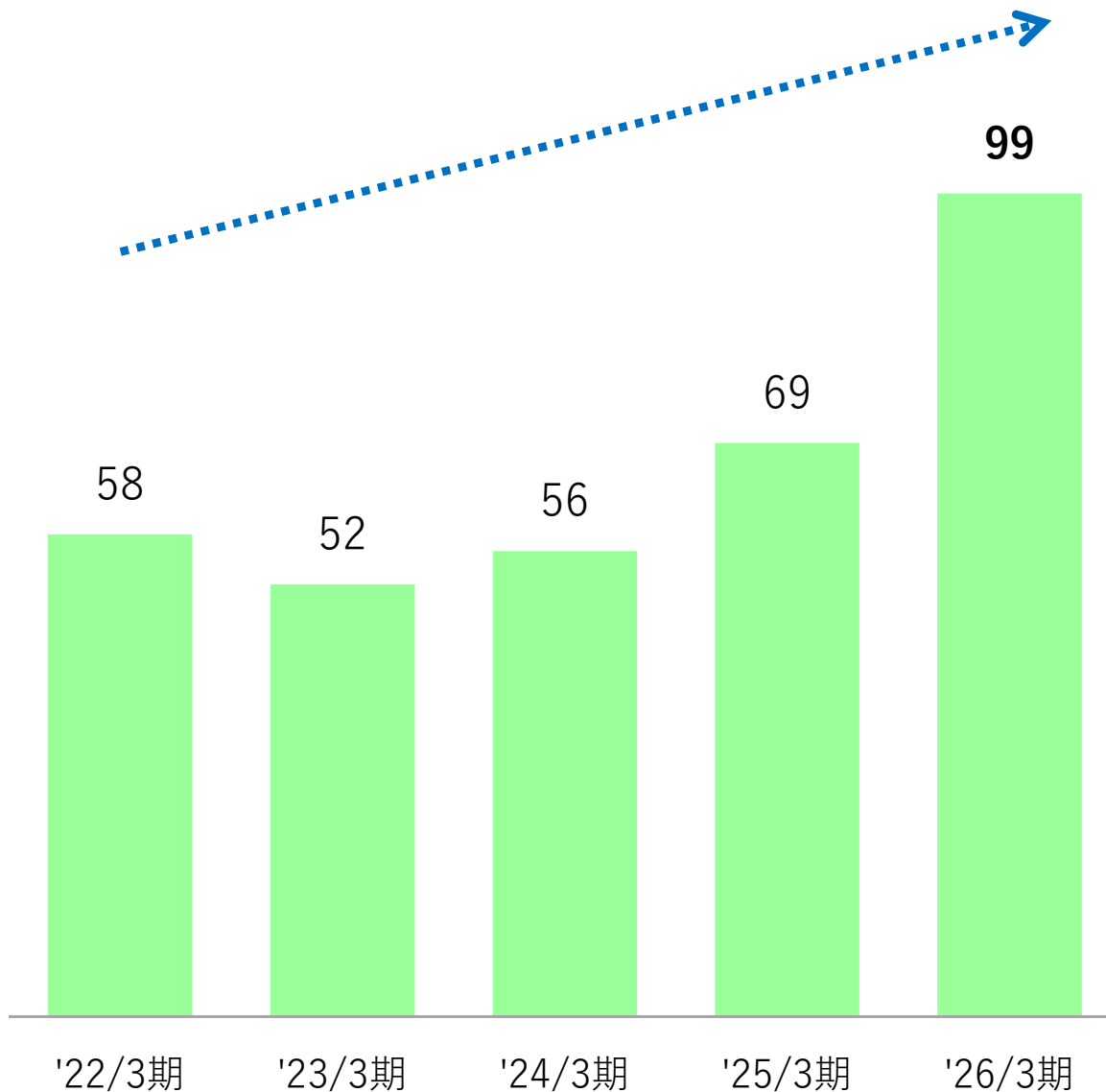
経常利益 73億円 (前期比 + 29億円)

- ・ 資金利益の増加
- ・ 与信関係費用の減少
 - ✓ 個別貸倒引当金繰入額が大幅に減少

当期純利益 65億円 (前期比 + 25億円)

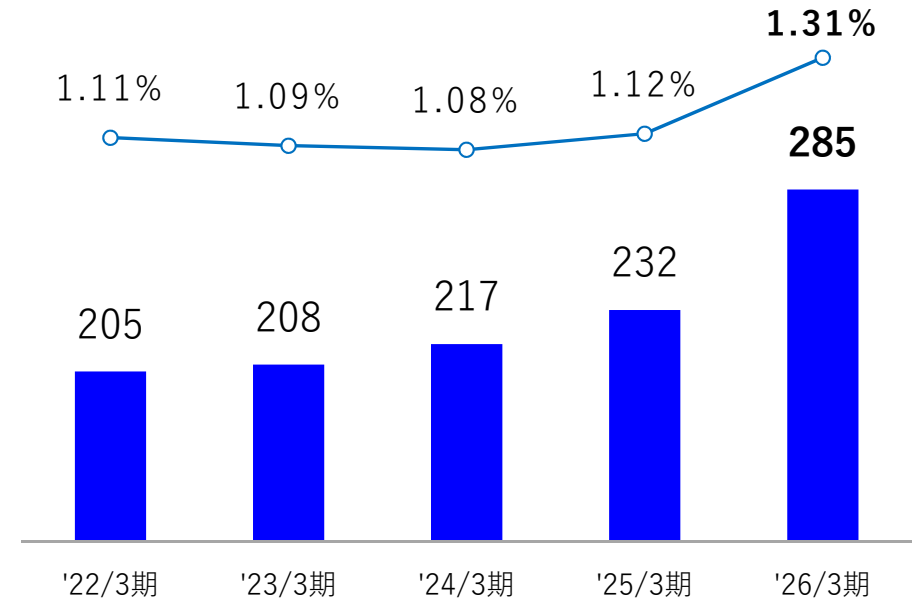
コア業務純益の推移 単体

コア業務純益* (億円)

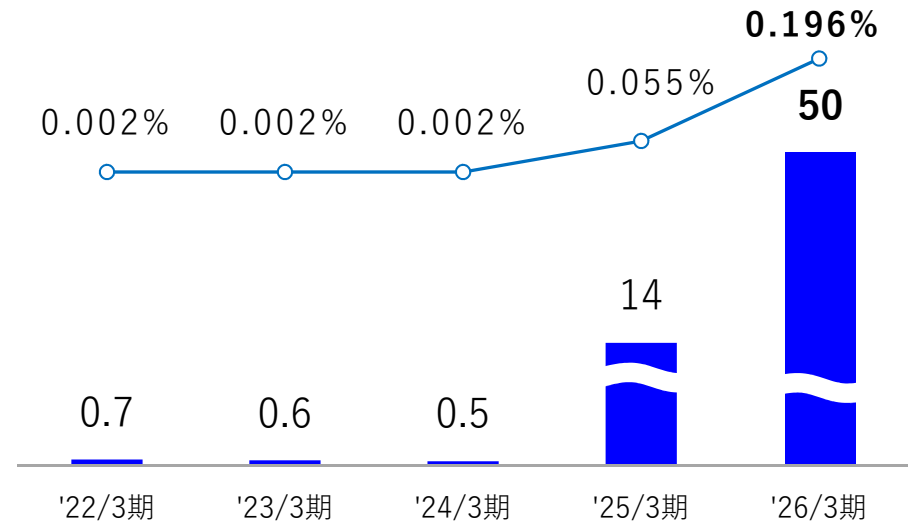


* 「コア業務純益」… 業務粗利益 - 経費 - 国債等債券損益

貸出金利息・貸出金利回り (億円)



預金利息・預金利回り (億円)

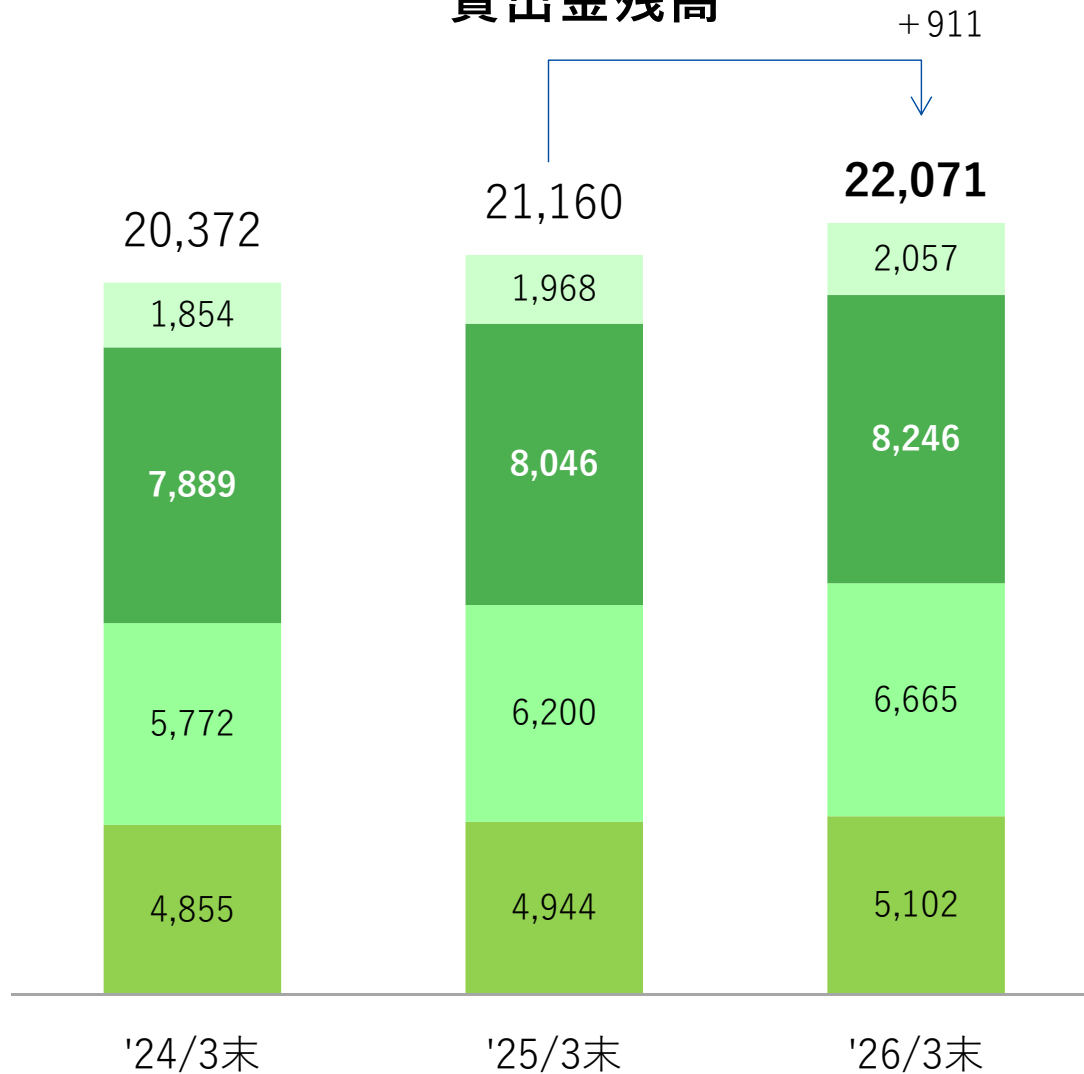


貸出金の状況 単体

	2026年3月末	前年度末比	増減率	主な増減要因
貸出金	22,071 億円	+ 911 億円	4.3%	 住宅ローン、中小企業貸出の増加

貸出金残高

(億円)



前年度末比

大中堅企業	+ 88 (4.5%)
中小企業	+ 200 (2.4%)
個人ローン (住宅ローン等)	+ 464 (7.4%)
地方公共団体 その他	+ 157 (3.1%)

預金・預り資産の状況 単体

	2026年3月末	前年度末比	増減率	主な増減要因
預金	25,547億円	△ 795億円	△ 3.0%	↓ 公金預金の減少
預り資産	4,255億円	+ 562億円	15.2%	↑ 投資信託、生命保険の増加
預金 + 預り資産	29,803億円	△ 233億円	△ 0.7%	↓ 預金残高の減少

預金残高

(億円)

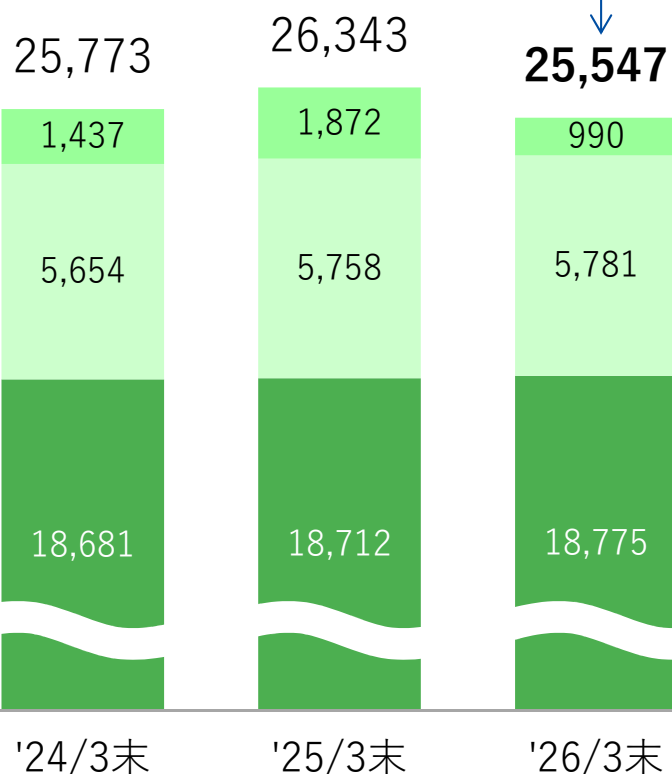
△ 795

前年度末比

公金 △ 882
(△47.1%)

法人 +23
(0.4%)

個人 +62
(0.3%)



預り資産残高

(億円)

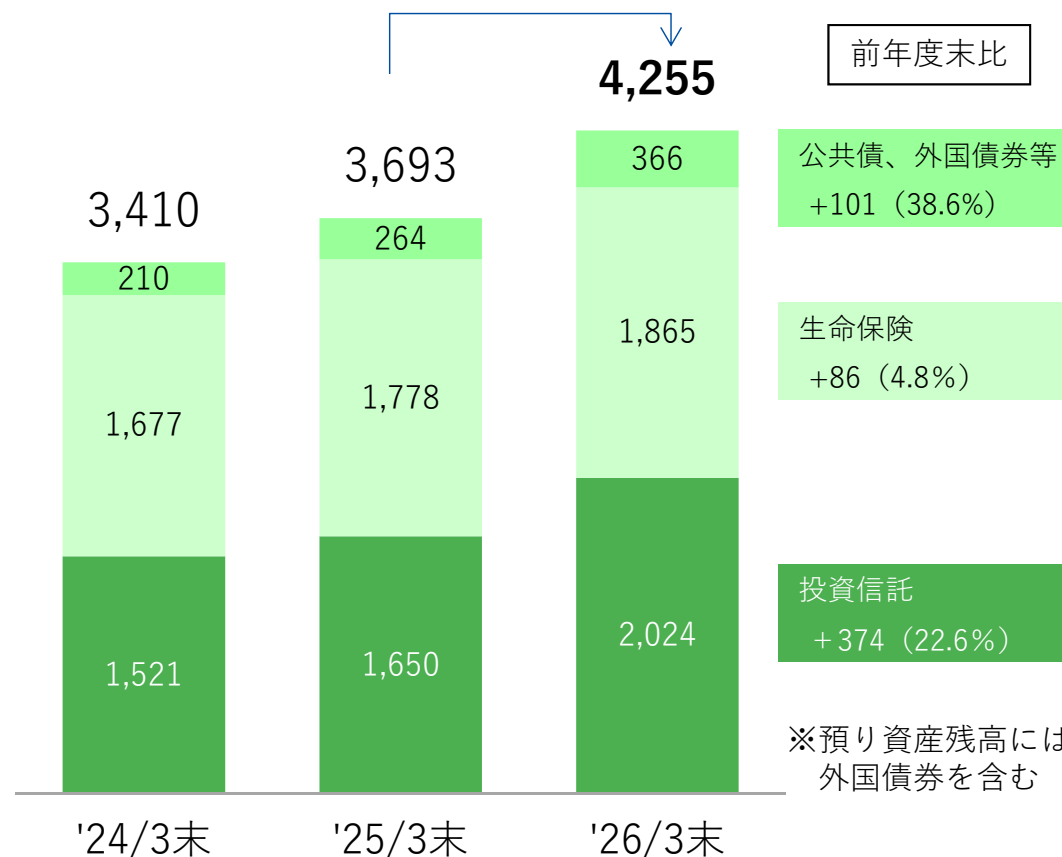
+ 562

前年度末比

公共債、外国債券等
+101 (38.6%)

生命保険
+86 (4.8%)

投資信託
+374 (22.6%)



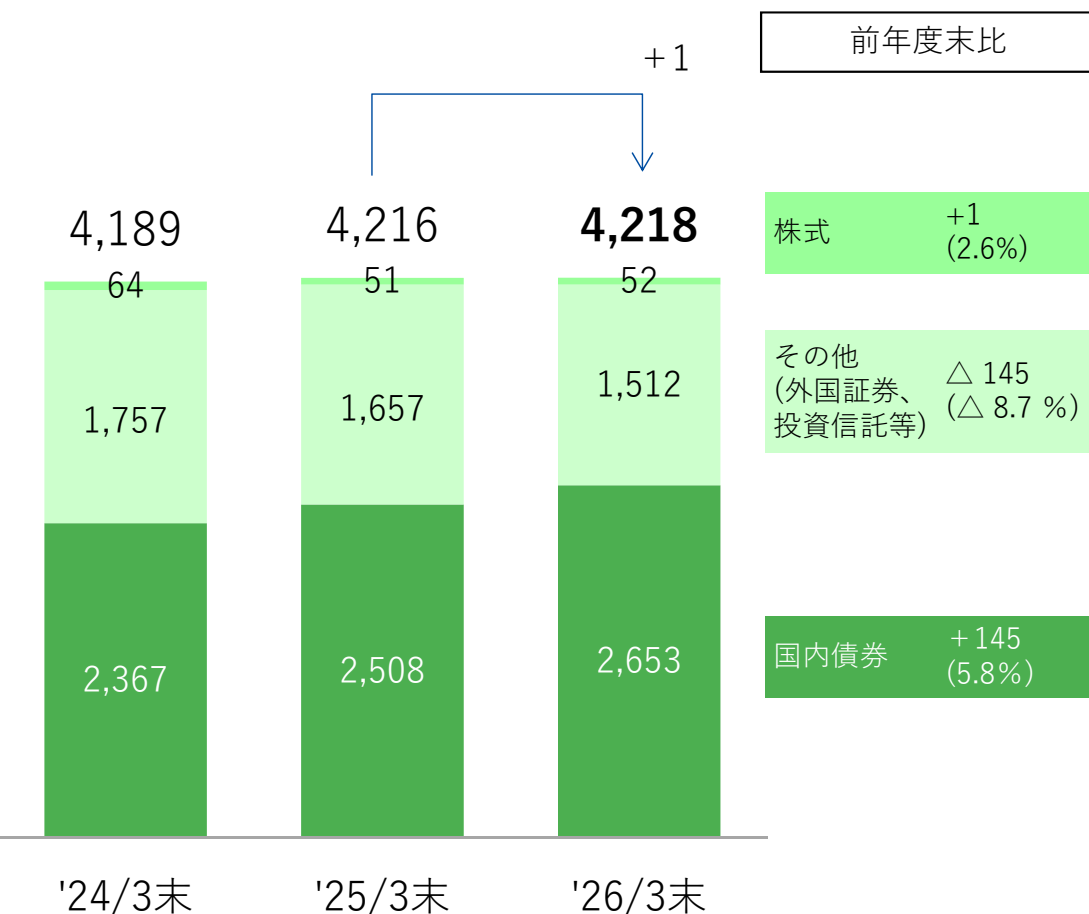
※預り資産残高には
外国債券を含む

有価証券の状況 単体

	2026年3月末	前年度末比	主な増減要因
有価証券	4,218億円	+ 1億円	 国内債券の増加
その他有価証券評価損益	△ 297億円	+ 36億円	 投資信託の評価損減少

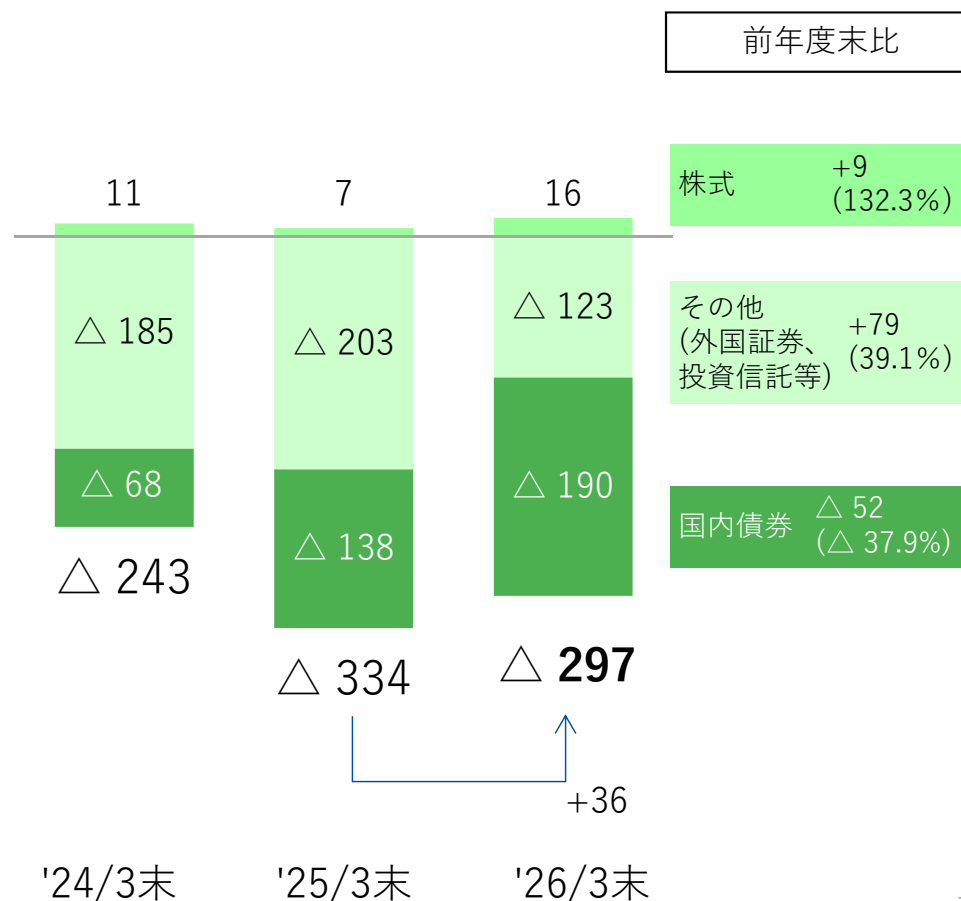
有価証券残高

(億円)



その他有価証券評価損益

(億円)

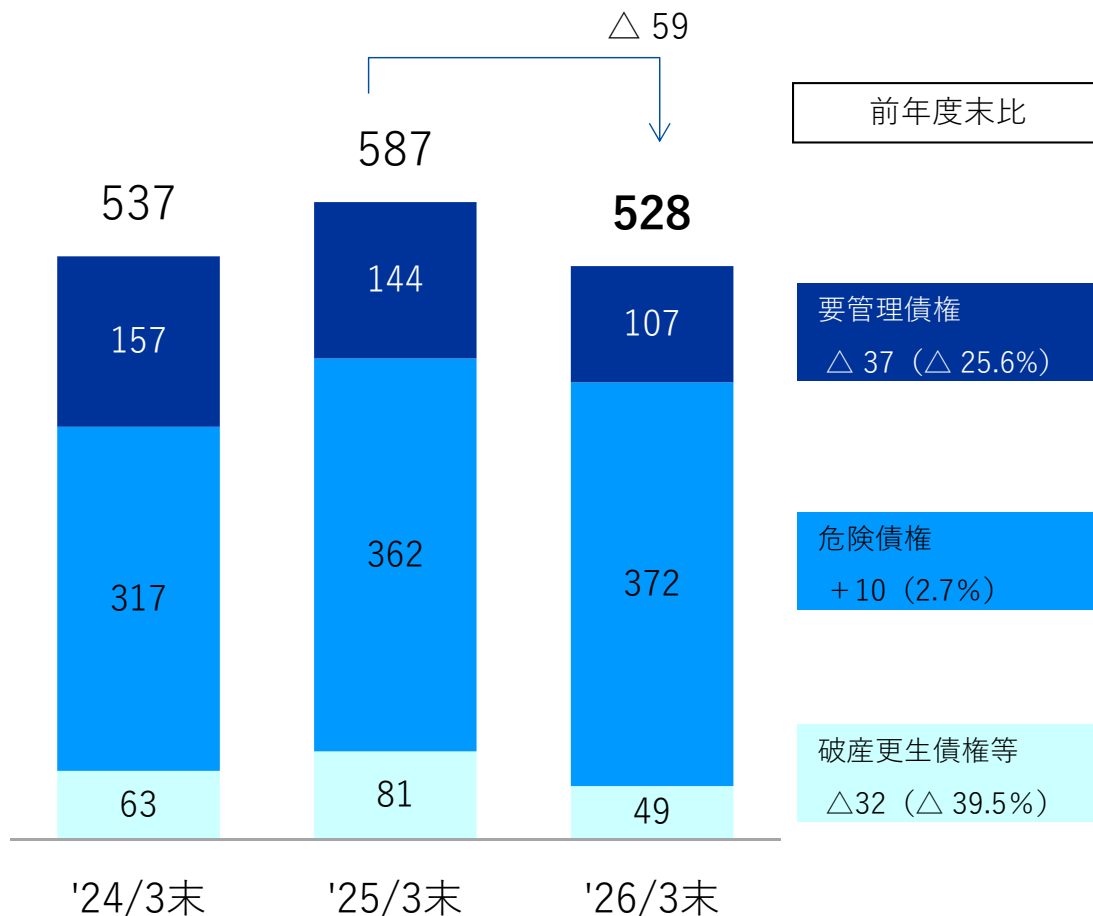


不良債権の状況 単体

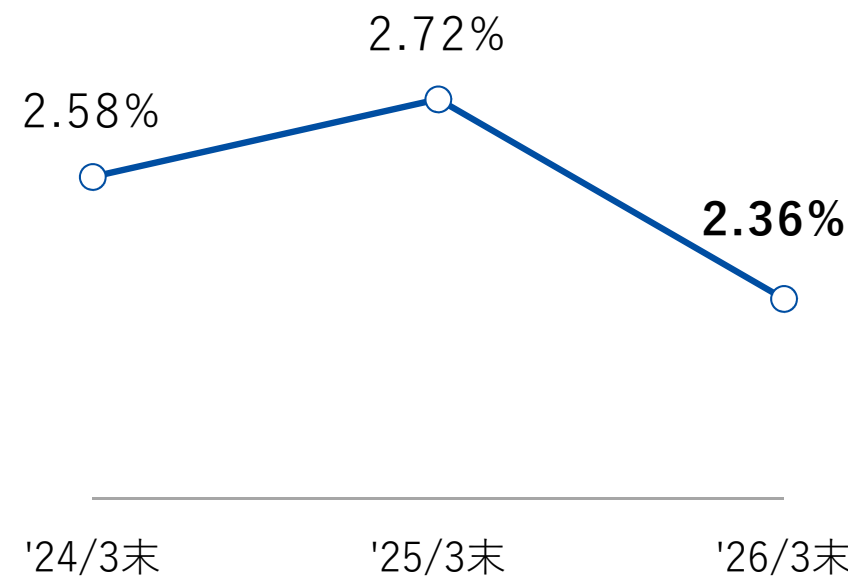
	2026年3月末	前年度末比	主な増減要因
金融再生法開示債権	528億円	△ 59億円	↓ 要管理債権・破産更生債権等の減少
不良債権比率	2.36%	△ 0.36%	↓ 金融再生法開示債権の減少

金融再生法開示債権残高

(億円)



不良債権比率

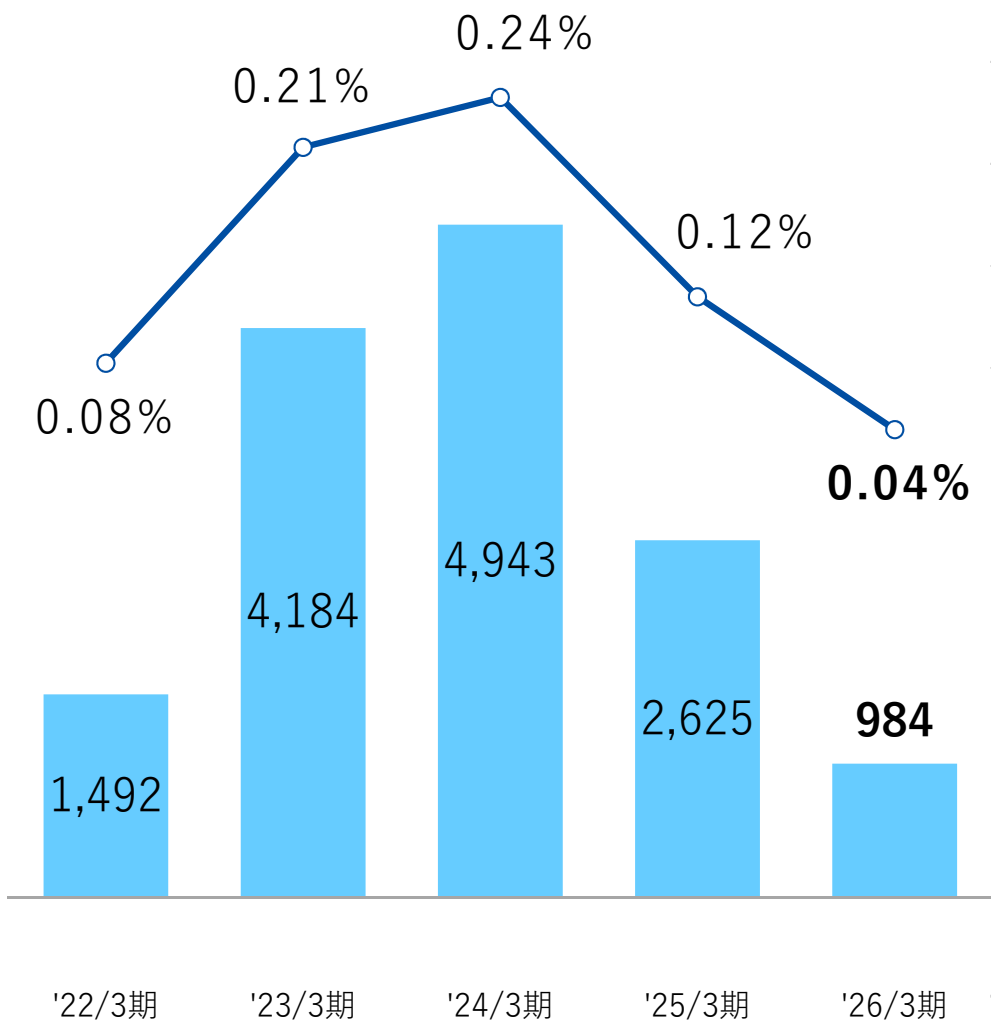


与信関係費用の状況 単体

与信関係費用

■ 与信関係費用 ● 与信費用比率* (百万円)

* 与信関係費用 ÷ 貸出金平残



	2025年 3月期	2026年 3月期	前期比
与信関係費用 ① + ② - ③	2,625	984	△ 1,641
一般貸倒引当金繰入額 ①	△ 1,914	△ 751	+ 1,162
不良債権処理費用 ②	4,994	2,102	△ 2,892
貸出金償却	1,017	699	△ 317
個別貸倒引当金繰入額	3,697	1,048	△ 2,648
債権売却損	△ 0	△ 1	△ 0
偶発損失引当金繰入額	22	34	+ 11
保証協会責任共有制度負担金	257	320	+ 62
償却債権取立益(△) ③	454	366	△ 88

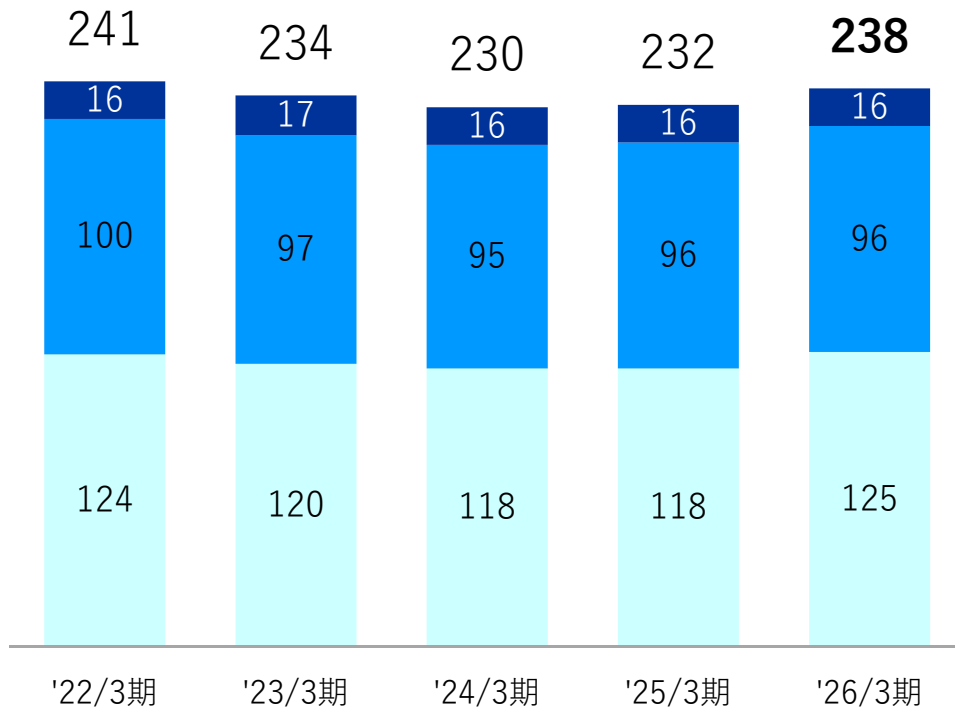
経費・コアOHRの状況 単体

	2026年3月期	前期比	主な増減要因
経費	238 億円	+ 6億円	賃上げに伴う人件費の増加
コアOHR*	70.48%	△6.47%	貸出金利息の増加を主因とした資金利益の増加

経費

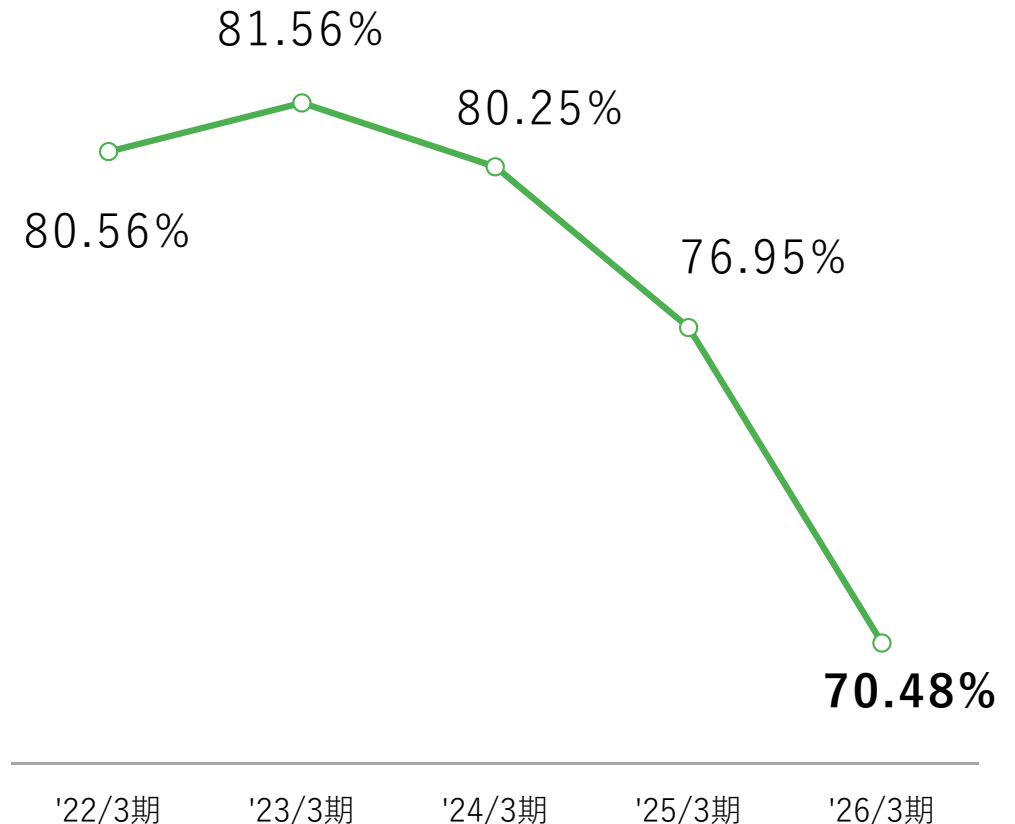
(億円)

■ 人件費 ■ 物件費 ■ 税金



コアOHR*

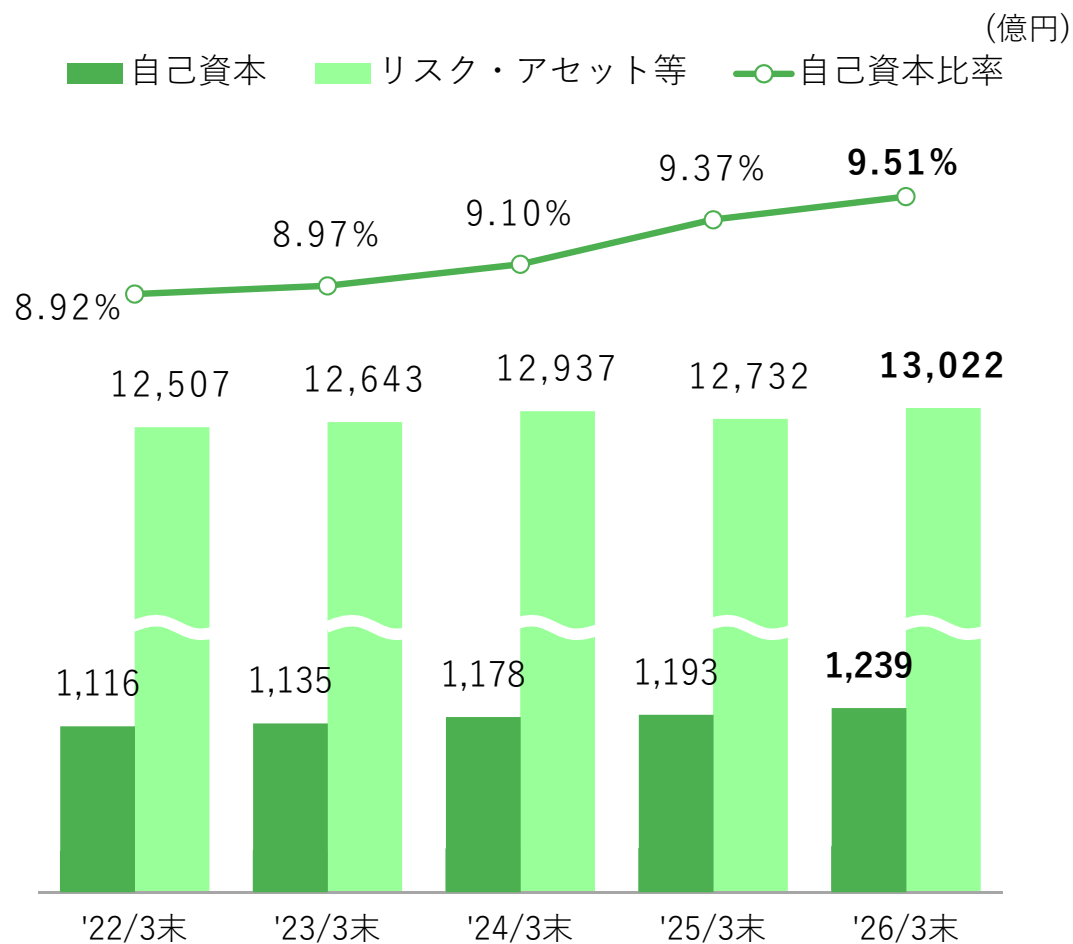
* 経費 ÷ (業務粗利益 - 国債等債券損益)



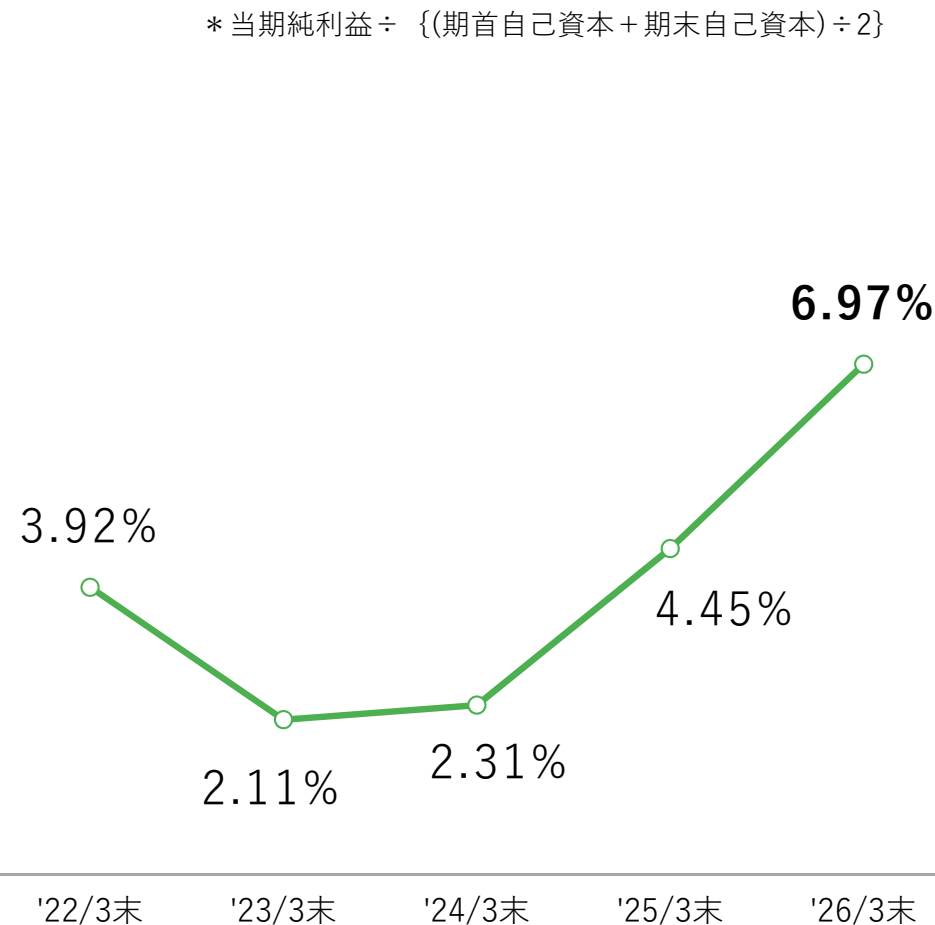
自己資本比率・ROEの状況 単体

	2026年3月末	増減	主な増減要因
自己資本比率	9.51%	前年度末比 +0.14%	↑ 自己資本の増加
ROE	6.97%	前期比 +2.52%	↑ 当期純利益の増加

自己資本比率



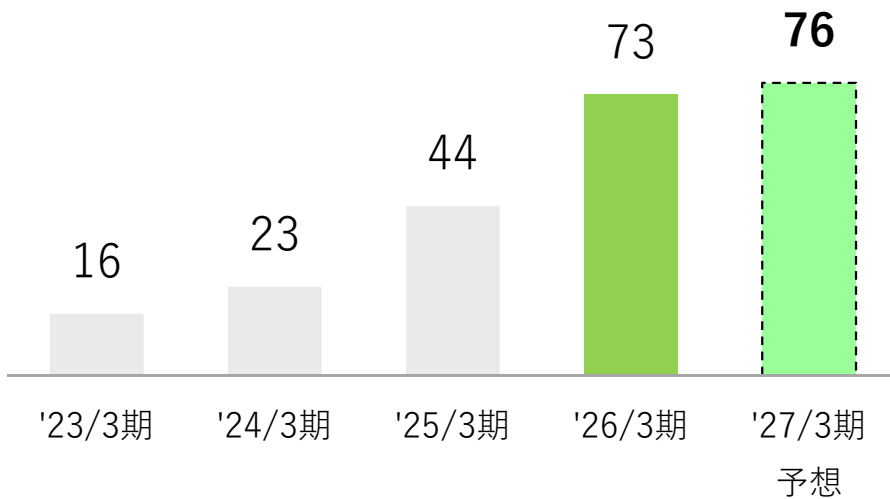
ROE*



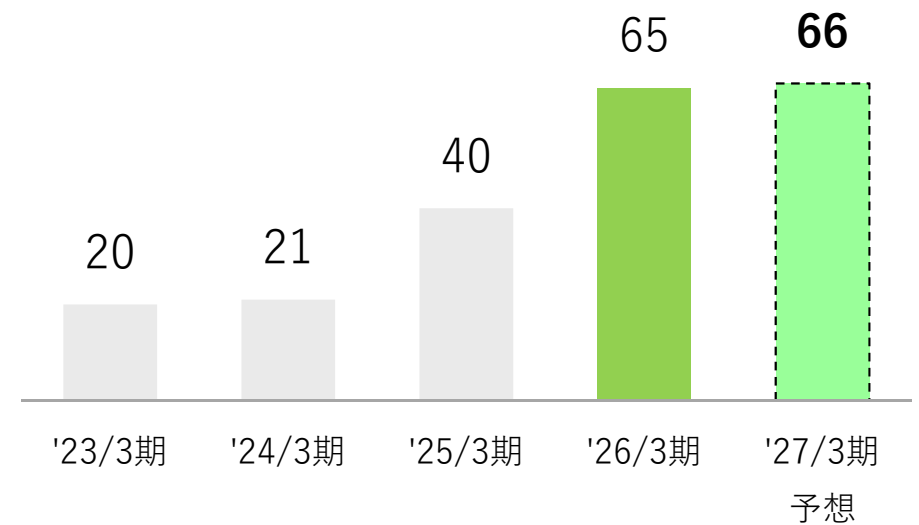
2026年5月12日公表

	2027年3月期 通期予想	2026年3月期 通期実績	前期比	増減率
経常利益	76 億円	73億円	+ 2億円	3.5%
当期純利益	66 億円	65億円	+ 0億円	0.1%

経常利益 (億円)



当期純利益 (億円)



- ・本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があることにご留意ください。